



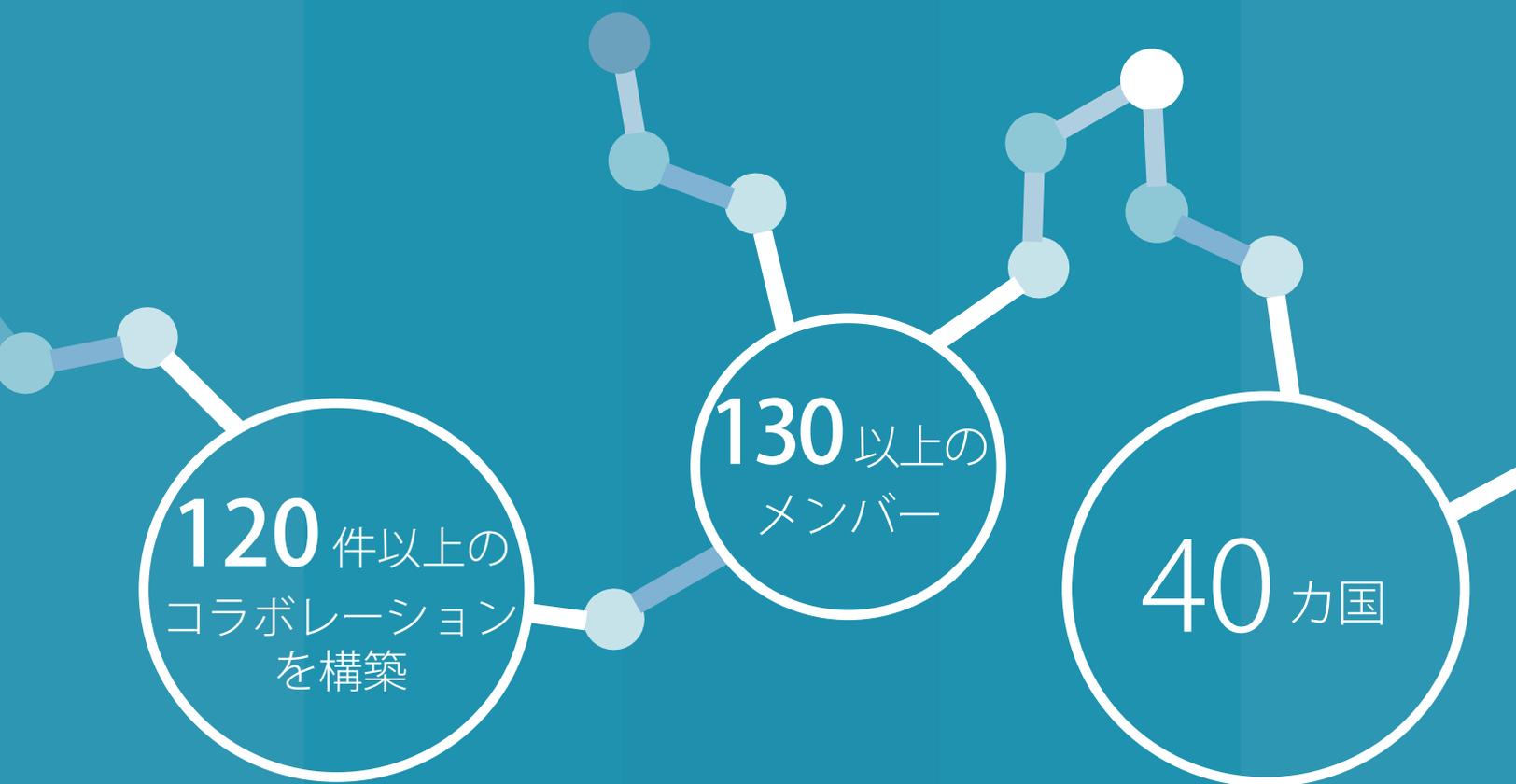
WIPO | Re:Search

Sharing Innovation
in the Fight Against
Neglected Tropical Diseases

BVGH パートナーシップ・ハブ

2017年

年次報告書



WIPO Re:Search

WIPO Re:Search メンバーおよび支持者各位

2017 年を振り返り、BVGH が多くの素晴らしい成果を上げたことを、WIPO Re:Search コミュニティの皆様とともに喜びたいと思います。メンバー数は、40 カ国から 130 以上の機関にまで増加しました。2017 年だけで 27 の新メンバーを当コンソーシアムに迎え、14 件のコラボレーションを構築し、さらに他に数件が協議中です。35 件のコラボレーションは現在進行中であり、その内 7 件については開発の目標マイルストーンを達成済みです。

BVGH は、WIPO Re:Search の重点的コラボレーションを明確にするための基準を制定し、パートナーシップ構築プロセスに組み入れました。これらの基準を制定したことにより、BVGH はパートナーシップ構築アプローチを簡素化し、まだ満たされていない最大の医療ニーズへの対応に向けて集中的に取り組んでいきます。

WIPO Re:Search 諮問委員会からの助言に基づき、WIPO および BVGH は“WIPO Re:Search 2017～2021 年戦略計画”を公表しました。本戦略計画は第 70 回世界保健総会において発表されたもので、今後 5 年間の本コンソーシアムの目標を定めています。

2017 年における成果を認識したうえで、我々は 2018 年においても引き続きグローバルヘルスの最も差し迫ったニーズのいくつかに対応することを楽しみにしています。皆様の WIPO Re:Search に対する継続的なご支援に感謝いたします。



BVGH プレジデント
ジェニファー・デント (Jennifer Dent)

2017

コラボレーション

目標

8

件の新しい重要な合意

実績

14

件の合意締結
および 35 件の継続
コラボレーションの管理

2017 年のコラボレーション における標的疾患

ブルーリ潰瘍



シャーガス病



HAT*



リーシュマニア症



リンパ系
フィラリア症



マラリア



住血吸虫症



土壌伝播蠕虫症



結核



BVGH の 2017 年におけるコラボレーションの目標は、8 件の新しい重要な合意を締結することと、継続中のコラボレーションへの提携管理支援の提供でした。BVGH は目標を上回る 14 件の新しい合意を締結し、その内 12 件は下記の基準を満たしていました。これらの合意は 9 つの疾病をカバーし、10 カ国から 20 メンバーを超える参加を得ています。

重要な合意の基準

1. プロジェクトの製品開発が進んだ段階にあること
2. 製品が解決されていない医療ニーズに対応していること
3. アプローチの新規性または新しく認証されたターゲットの新規性
4. 期待される製品が、目標製品プロファイル (TPP) または目標候補プロファイル (TCP) と一致すること

* ヒトのアフリカトリパノソーマ症

2017 構築したパートナーシップ

パートナー	疾病	共有された資産	段階	製品
アルナイラム、オズワルド・クルス財団	住血吸虫症	試薬	基礎研究	データ
イーザイ、NEU、UCSD	シャーガス病、リーシュマニア症	化合物	スクリーニング	医薬品
イーザイ、UCSD	住血吸虫症	化合物	スクリーニング	医薬品
FIND, IP Korea	結核	試料	前臨床	医薬品
GSK, UCB	結核	化合物	ヒット同定	医薬品
J&J, IDRI	リーシュマニア症、結核	化合物	スクリーニング	医薬品
J&J, NIH	結核	化合物	スクリーニング	医薬品
J&J, U of T	土壌伝播蠕虫症	化合物	スクリーニング	医薬品
J&J, WUSTL	結核	化合物	スクリーニング	医薬品
メルク、UCSD	複数	化合物	スクリーニング	医薬品
NIPD, CPC	マラリア	試料	基礎研究	データ
武田薬品、NIH / NIAID	マラリア	技術	前臨床	ワクチン
武田薬品、UCSF	リンパ系フィラリア症	化合物	スクリーニング	医薬品
USF, U of Yaoundé	複数	専門知識	ヒット同定	医薬品

機関名略語表

CPC : カメルーン・パスツールセンター
FIND : Foundation for Innovative New Diagnostics
GSK : グラクソ・スミスクライン
IDRI : Infectious Disease Research Institute
IP Korea : 韓国パスツール研究所
J&J : ヤンセン・リサーチ・アンド・ディベロップメント

NEU : ノースイースタン大学
NIH : アメリカ国立衛生研究所
NIAID : アメリカ国立アレルギー・感染症研究所
NIPD : National Institute of Parasitic Diseases
UCB : カリフォルニア大学バークレー校
UCSD : カリフォルニア大学サンディエゴ校

UCSF : カリフォルニア大学サンフランシスコ校
U of T : トロント大学
U of Yaounde : ヤウンデ第一大学
USF : サウスフロリダ大学
WUSTL : ワシントン大学セントルイス

コラボレーション・ハイライト

土壌伝播蠕虫症のための新薬候補

ヤンセン・リサーチ・アンド・ディベロップメント (J&J) は、トロント大学のアンドリュー・フレイザー (Andrew Fraser) 教授に、同社の "Jump-stARter" ライブラリーを提供しました。J&J のライブラリーは、多様な化学物質を代表するために慎重に選択された、8 万の高品質化合物の組み合わせです。フレイザー教授の研究室は、寄生虫で発見された固有の代謝経路の阻害剤を同定するために、C. エレガンスに対する本ライブラリーのスクリーニングを行ってきました。

マラリア DNA ワクチンのための超極細針パッチの採用

武田薬品工業およびアメリカ国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID) は、タンパク抗原をベースとする伝播阻止マラリアワクチン投与に、武田薬品の超極細針パッチ技術を応用する可能性について検証するための共同事業を始めました。ワクチンは NIAID のマラリア免疫学およびワクチン学研究所 (LMIV) が開発しました。この合意に基づき、武田薬品と LMIV はワクチン抗原と超極細針パッチ・ポリマーとの親和性を確認します。NIAID の科学者はその後、パッチ投与ワクチンの生体内での免疫原性の評価を行います。

2017

メンバー募集状況 について

目標

6 の“重点”ユーザー・メンバー

実績

27 のユーザーおよび
プロバイダー・メンバー

BVGH は、2017 年に 27 の新しいユーザーおよびプロバイダー・メンバーを得ました。この新メンバーの内の 9 メンバーが“重点”募集基準を満たしていました。16 の新メンバーは、中低所得国（LMIC）を拠点としています。

“重点”メンバー

特定の国および地域からの機関

- オーストラリア、東アフリカおよびインド・太平洋地域
- および重要なパイプライン・ギャップを埋める能力を持つ機関

ブラジル国立生命科学研究所

ブラジル国立生命科学研究所（LNBio）は、最先端のバイオテクノロジー、ヘルスケアおよび生命科学の研究および開発に取り組んでいます。LNBio の科学者は、病原菌の毒性の分子メカニズムの把握と、シャーガス病やリーシュマニア症などの寄生虫疾患のための医薬品開発に注力しています。

新メンバー

ブラジル国立生命科学研究所
Centre for Plant Medicine Research
ジョージ・ワシントン大学
Instituto de Biologia Molecular y Celular de Rosario
Institut de Recherche en Sciences de la Sante
マケレレ大学
Seattle Children's Research Institute
リオデジャネイロ州立大学 Social Medicine Institute
Structural Genomics Consortium
Texas Children's Hospital Center for Vaccine Development
カンピーナス大学
ジャング大学
パリ第 11 大学
サンパウロ大学
サウスカロライナ大学
テキサス大学サウスウェスタン医学センター
トロント大学
ザンビア大学

新“重点”メンバー

エイクマン分子生物学研究所
マダガスカル・パスツール研究所
バンドン工科大学
バングラデシュ国際下痢性疾患研究センター
ジェームズクック大学
モナシュ大学
国立医学研究所
パプアニューギニア医学研究所
メルボルン大学

新メンバー・スポットライト

トロント大学

トロント大学はカナダの有力な高等教育機関であり、研究重点型としては世界でも最上位の大学の1つです。本大学は12億米ドルの研究助成金を受け取りました。本大学では、寄生線虫研究のモデルとしてのC.エレガンスの応用、皮膚リーシュマニア症の発症におけるリーシュマニア・リボ核酸ウィルス1の役割に関する研究、および薬物耐性を持つマラリア原虫を感作する合成界面活性剤の開発などを行っています。

エイクマン分子生物学研究所

エイクマン分子生物学研究所は、生体臨床医学、生物学的多様性、バイオテクノロジーおよびバイオセキュリティの基礎および応用研究の進展に重点を置いています。本研究所の感染症研究者は、抗マラリア抵抗力のメカニズム、天然物由来創薬、マラリア・ワクチンの開発および Dengue 熱ワクチンの治験に関する研究に集中的に取り組んでいます。

マケレレ大学

マケレレ大学はアフリカ最古の大学の1つです。本大学の研究者は分子生物学およびマラリアの臨床薬理学に集中的に取り組んでいます。本大学のヘルス・サイエンス・カレッジの伝染病研究所では、結核診断の臨床的評価など数々のプロジェクトを遂行しています。



2017

IP オーストラリア 信託基金について

目標

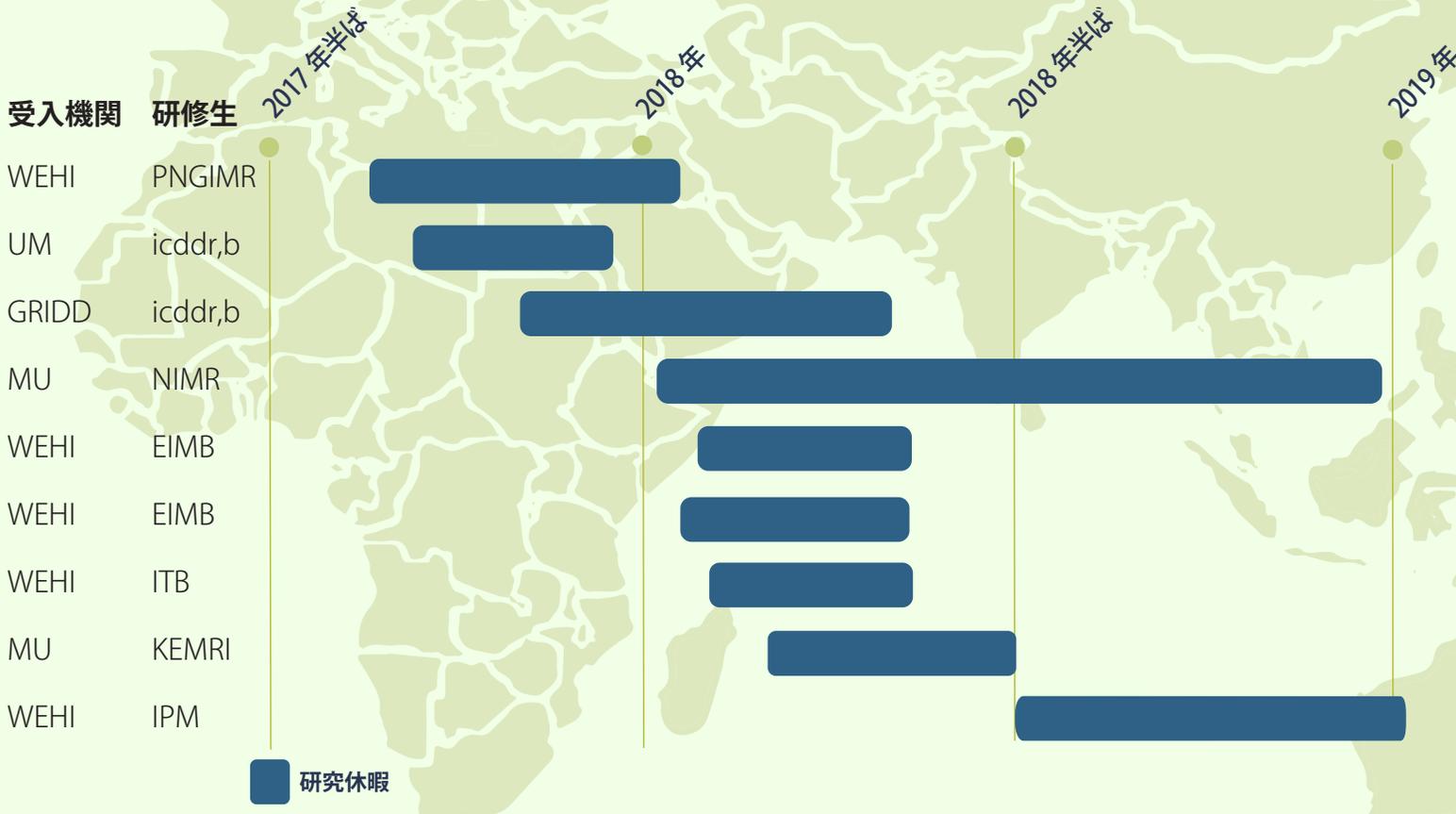
LMIC の研究者に対する
研究休暇の実現

2016 年、オーストラリア政府は WIPO（信託基金 2 (FIT2)）に資金拠出を行い、東アフリカおよびインド・太平洋地域の研究者のオーストラリア研究機関における研修を支援しました。

2017 年に BVGH は研修生を受入機関に斡旋し、彼らの研究プロジェクトおよび研修計画を進展させました。LMIC の 9 名の科学者が参加のために選ばれ、2017 年には 3 件の研究休暇を開始しました。

実績

9 名の LMIC の研究者に
研究休暇をコーディネート



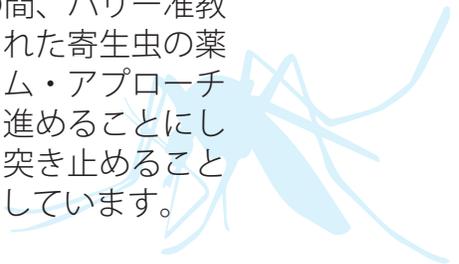
完了

FIT2 による研究休暇

パプアニューギニアの (PNG's) 国家マラリア 予防対策プログラムの 成功にもかかわらず、

マラリアは引き続き同国全体における公衆衛生上の問題です。ゲノム・ツールなどの新しいアプローチには、マラリア対策を強化し革命的に変化させる可能性があります。

マラリア予防のための分子調査を強化しゲノム・ツールの開発を進展させるため、ウォルター・アンド・イライザ・ホール医学研究所のアリッサ・バリー (Alyssa Barry) 准教授は、パプアニューギニア医学研究所の経験豊かな研究者であるドゥルシエ・ラウトゥ (Dulcie Lautu) さんを受け入れました。研究休暇の間、バリー准教授とラウトゥさんは、パプアニューギニアで採取された寄生虫の薬物耐性遺伝子を調べるために、いままでにないゲノム・アプローチを応用しました。ラウトゥさんはこの研究をさらに進めることにしており、パプアニューギニアで抗マラリア抵抗力を突き止めることに集中的に取り組むべく、博士課程の奨学金を申請しています。



研修生の出身機関

EIMB : エイクマン分子生物学研究所

icddr,b : バングラデシュ国際下痢性疾患研究センター

IPM : マダガスカル・パスツール研究所

ITB : バンドン工科大学

KEMRI : ケニア中央医学研究所

NIMR : 国立医学研究所

PNGIMR : パプアニューギニア医学研究所

受入機関

GRIDD : グリフィス創薬研究所

MU : モナシュ大学

UM : メルボルン大学

WEHI : ウォルター・アンド・イライザ・ホール医学研究所

2017

広報について

目標

- WIPO Re:Search に対する認知度向上のための活動継続
- 5つの会議で WIPO Re:Search を紹介し意見表明
- “WIPO Re:Search 戦略計画” を策定

実績

- 月刊の “WIPO Re:Search スナップショット” および “WIPO Re:Search 2017 年中間報告” を発行
- ソーシャルメディアへのプレゼンスを増加
- 6つの会議で WIPO Re:Search をプレゼンし意見表明を実施
- “WIPO Re:Search 2017 ~ 2021 年戦略計画” を公表

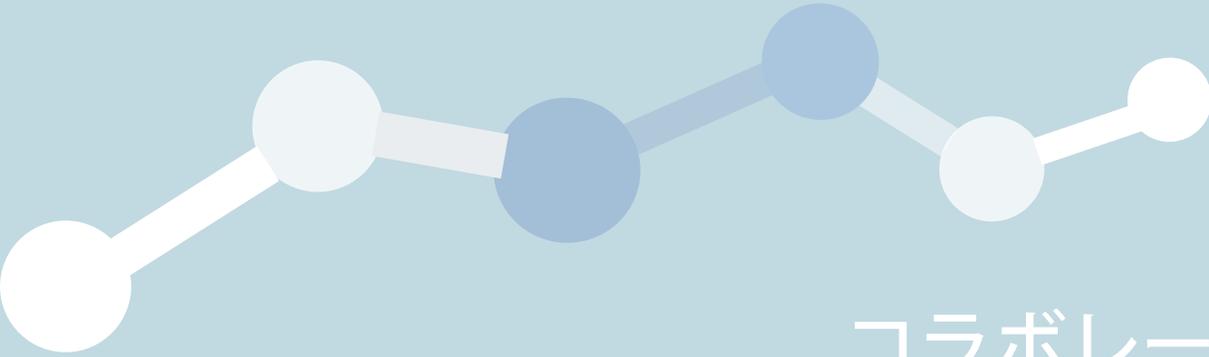
WIPO Re:Search 戦略計画

2021

WIPOとのパートナーシップとWIPO Re:Search 諮問委員会からの助言に基づき、BVGHは“WIPO Re:Search 2017 ~ 2021 年戦略計画”を公表しました。本戦略計画は4つの戦略的目標についての活動項目を明示しています。

1. 知的財産 (IP) 資産を活用し、顧みられない熱帯病 (NTDs)、マラリアおよび結核のための R&D を進展させる。
2. 有望な R&D コラボレーションを推進する。
3. IP 管理および生物医学 R&D のためのグローバルな能力を強化する。
4. NTDs、マラリアおよび結核のためのイノベーションにおける、IP の有益な役割を公衆に伝える。

2017



BVGH の 2018 年 の目標

コラボレーション

8 件の重点コラボレーションの構築
進行中のコラボレーションの運営
優先的コラボレーションの進展

広報

WIPO Re:Search の広報戦略の推進

WIPO Re:Search の広報の強化

WIPO Re:Search の認知度の向上

- イベントおよび会合
- ニュースレターの読者数
- 出版物
- ソーシャルメディア

IP オーストラリア FIT2

FIT2 による研究休暇を実施

FIT2 の要約レポートを作成し公表



WIPO | Re:Search

Sharing Innovation
in the Fight Against
Neglected Tropical Diseases

下記のスポンサーからご協力をいただいております。

